

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年12月26日

【四半期会計期間】 第65期第1四半期(自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

【会社名】 株式会社A. Cホールディングス

【英訳名】 A. C HOLDINGS Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 金井 壮

【本店の所在の場所】 東京都港区芝大門一丁目2番1号

【電話番号】 03(5473)7722

【事務連絡者氏名】 経理事務連絡担当 平林 友伸

【最寄りの連絡場所】 東京都港区芝大門一丁目2番1号

【電話番号】 03(5473)7722

【事務連絡者氏名】 経理事務連絡担当 平林 友伸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年2月15日に提出いたしました第65期第1四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、監査法人まほろばにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式データ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 事業等のリスク

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第5 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(9) 注記事項

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 企業情報
 第1 企業の概況
 1 主要な経営指標等の推移

(訂正前)

回次	第64期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第65期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第64期
会計期間	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日
売上高 (千円)	975,686	823,823	3,736,519
経常損失(△) (千円)	△105,062	△193,288	<u>△26,913</u>
四半期(当期)純損失(△) (千円)	△295,976	△580,196	<u>△3,505,212</u>
純資産額 (千円)	<u>11,719,514</u>	<u>7,899,549</u>	<u>8,480,612</u>
総資産額 (千円)	<u>12,901,774</u>	<u>8,988,164</u>	<u>9,696,178</u>
1株当たり純資産額 (円)	<u>289.78</u>	<u>195.33</u>	<u>209.70</u>
1株当たり四半期(当期)純損失金額(△) (円)	△7.32	△14.35	<u>△86.67</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>90.8</u>	<u>87.9</u>	<u>87.5</u>

(訂正後)

回次	第64期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第65期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第64期
会計期間	自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日	自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日	自 平成20年10月1日 至 平成21年9月30日
売上高 (千円)	975,686	823,823	3,736,519
経常損失(△) (千円)	△105,062	△193,288	<u>△20,777</u>
四半期(当期)純損失(△) (千円)	△295,976	△580,196	<u>△3,499,076</u>
純資産額 (千円)	<u>12,110,122</u>	<u>8,280,061</u>	<u>8,863,246</u>
総資産額 (千円)	<u>13,292,382</u>	<u>9,368,676</u>	<u>10,078,812</u>
1株当たり純資産額 (円)	<u>299.44</u>	<u>204.74</u>	<u>219.16</u>
1株当たり四半期(当期)純損失金額(△) (円)	△7.32	△14.35	<u>△86.52</u>
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	<u>91.1</u>	<u>88.4</u>	<u>87.9</u>

第2 事業の状況

2 事業等のリスク

2) 継続企業の前提に関する重要な事象等

(訂正前)

自己資本比率も87.9%と高水準を維持しております。

(訂正後)

自己資本比率も88.4%と高水準を維持しております。

4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前第1四半期連結会計期間末に比べ39億13百万円減少し89億88百万円となりました。流動資産は17億68百万円減少し36億63百万円、固定資産は21億44百万円減少し53億24百万円となりました

<省略>

純資産では利益剰余金が37億89百万円減少し、78億99百万円となりました。

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前第1四半期連結会計期間末に比べ39億23百万円減少し93億68百万円となりました。流動資産は17億68百万円減少し36億63百万円、固定資産は21億55百万円減少し57億4百万円となりました。

<省略>

純資産では利益剰余金が37億83百万円減少し、82億80百万円となりました。

第5 経理の状況

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表及び当第1四半期連結累計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、フロンティア監査法人による四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間(平成20年10月1日から平成20年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表及び当第1四半期連結累計期間(平成21年10月1日から平成21年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、フロンティア監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けています。

1 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
投資その他の資産		
投資有価証券	108,870	109,730
関係会社株式	888,060	938,968
投資不動産	※2 1,363,659	※2 1,366,907
長期未収入金	1,250,551	1,163,061
破産更生債権等	1,922,916	1,922,927
その他	188,295	189,928
貸倒引当金	△2,390,899	△2,396,513
投資その他の資産合計	<u>3,331,456</u>	<u>3,295,010</u>
固定資産合計	<u>5,324,465</u>	<u>5,718,823</u>
資産合計	<u>8,988,164</u>	<u>9,696,178</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	11,769,273	11,769,273
利益剰余金	△6,735,124	△6,154,922
自己株式	△604,076	△604,074
株主資本合計	<u>7,930,072</u>	<u>8,510,276</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,523	△29,664
評価・換算差額等合計	<u>△30,523</u>	<u>△29,664</u>
純資産合計	<u>7,899,549</u>	<u>8,480,612</u>
負債純資産合計	<u>8,988,164</u>	<u>9,696,178</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
投資その他の資産		
投資有価証券	108,870	109,730
関係会社株式	<u>1,268,572</u>	<u>1,321,602</u>
投資不動産	※2 1,363,659	※2 1,366,907
長期未収入金	1,250,551	1,163,061
破産更生債権等	1,922,916	1,922,927
その他	188,295	189,928
貸倒引当金	<u>△2,390,899</u>	<u>△2,396,513</u>
投資その他の資産合計	<u>3,711,968</u>	<u>3,677,644</u>
固定資産合計	<u>5,704,977</u>	<u>6,101,457</u>
資産合計	<u>9,368,676</u>	<u>10,078,812</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	11,769,273	11,769,273
利益剰余金	<u>△6,314,802</u>	<u>△5,734,600</u>
自己株式	<u>△604,076</u>	<u>△604,074</u>
株主資本合計	<u>8,350,394</u>	<u>8,930,598</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	<u>△30,581</u>	<u>△29,692</u>
土地再評価差額金	<u>△6,153</u>	<u>△6,153</u>
為替換算調整勘定	<u>△33,599</u>	<u>△31,507</u>
評価・換算差額等合計	<u>△70,333</u>	<u>△67,352</u>
純資産合計	<u>8,280,061</u>	<u>8,863,246</u>
負債純資産合計	<u>9,368,676</u>	<u>10,078,812</u>

(9) 注記事項
(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)		前連結会計年度末 (平成21年9月30日)	
1株当たり純資産額	<u>195.33</u> 円	1株当たり純資産額	<u>209.70</u> 円

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)		前連結会計年度末 (平成21年9月30日)	
1株当たり純資産額	<u>204.74</u> 円	1株当たり純資産額	<u>219.16</u> 円

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成 25 年 12 月 20 日

株式会社 A.C ホールディングス

取締役会 御中

監査法人 まほろば

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 土屋 洋 泰 印

指 定 社 員
業務執行社員 公認会計士 赤 坂 知 紀 印

当監査法人は、金融商品取引法第 193 条の 2 第 1 項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社 A.C ホールディングスの平成 21 年 10 月 1 日から平成 22 年 9 月 30 日まで連結会計年度の第 1 四半期連結会計期間（平成 21 年 10 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社 A.C ホールディングス及び連結子会社の平成 21 年 12 月 31 日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第 1 四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

1. 四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第 24 条の 4 の 7 第 4 項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。
2. 四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は当第 1 四半期連結会計期間より「工事契約に関する会計基準」及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」を適用している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。